

セルロースナノファイバーの実用化 に向けた応用技術と新展開

セルロースナノファイバー(CNF)の応用展開を進めるためには、セルロースナノファイバーの優れた特徴を理解する必要があります。次に、どのような基礎コンセプトが応用の発想に必要なかを考慮することが求められる。

そのため、まず基礎事項と共に、国内の実用化への取り組みと、そこに用いられている CNF の製造、機能化技術例について解説する。また、CNF を活用した「食品分野」及び「包装材料」の利用について実用事例や応用例を交えて解説する。

開催日時	2016年7月11日(月)13:00~16:50	【会場】	ちよだプラットフォームスクウェア 5F 501 会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21
受講料	49,000円(税込) ※ 資料代含 * メルマガ登録者は 44,000円(税込)		

1. セルロースナノファイバーの概要と応用 (ACC 法など)、産業への期待

講師	九州大学 大学院農学研究院 近藤哲男 氏	13:00~14:10(質疑含)
プログラム	1. セルロースナノファイバーの基礎物性 1.1 構造 1.2 物理化学的性質 1.3 安全性 2. 応用例と用いられている技術・コンセプト 2.1 応用例 2.2 製造方法 (1) 原料 (2) 製造方法 ① 化学的方法 ② 物理的方法 ③ 物理化学的方法 3 水中カウンターコリジョン法 (ACC) の概説 3.1 ACC 法が天然セルロース素材に対してどのように優しく作用するのか? 3.2 ACC-ナノセルロースの両親媒性発現を用いる応用に向けた検討 4. おわりに 4.1 トップダウン型とボトムアップ型セルロースナノファイバー 4.2 ナノファイバーは細ければ細かいほど利点があるのか? 4.3 今後の展望や課題について	

2. CNFの食品としての利用を目指して

講師	森林総合研究所 主任研究員 林 徳子氏	14:20~15:30(質疑含)
プログラム	1. 食品分野におけるナノテクノロジー 2. 食物繊維としてのセルロース 3. 食品添加物としてのセルロース 4. 食品利用を目指した CNF 生産法 5. 上記 CNF の安全性について	

3. ナノセルロースの包装材料としての利用

講師	凸版印刷株式会社 事業開発・研究本部 加藤 友美子 氏	15:40~16:50(質疑含)
プログラム	1. 背景 2. TEMPO 酸化とセルロースナノファイバー 3. 包装材料としての利用 4. まとめ	

弊社記入欄	セミナー申込書		
セミナー名	セルロースナノファイバーの実用化に向けた応用技術と新展開		
所定の事項にご記入下さい	会社名 (団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
	E-mail :		
	部署	役職	氏名
お支払方法	(ご便宜の方法を○で囲んで下さい。) 銀行振込・郵便振替	お支払予定	年 月 日頃

- 申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAX または E-mail でお申し込みください。折り返し、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。(E-mail での申し込みは re@cmcre.com)
- 申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL03-3293-7053
- 本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789